

「アレルギー性気管支肺真菌症 第2回全国実態調査」 について

加古川中央市民病院呼吸器内科では、東海大学医学部が代表機関で実施されている登録研究に参加しております。内容については下記の通りになっております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究の概要及び利用目的】

この研究は、厚生労働科学研究費補助金に基づく難治性疾患等克服研究事業の一環として、全国のアレルギー性気管支肺真菌症（ABPM）および真菌（アスペルギルス）感作喘息の患者さんのデータを集計させていただくものです。本邦の実情に調査することを目的としています。

【研究期間】

研究実施期間：院長承認日～2021年12月31日

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

2014年1月1日から2019年12月31日までの間に当院を受診したアレルギー性気管支肺真菌症および真菌（アスペルギルス）感作喘息の患者さんの診療録から下記情報を収集いたします。

- ・症状、経過、治療内容、基礎疾患、血液・呼吸機能検査や頰部のレントゲン、CT画像のデータを収集いたします。

【個人情報保護の方法】

特定の個人を識別できないように処理し、対応表作成を作成し、対応表はネットワークに接続しないパソコンに保管します。個人情報を外部機関へ提供しません。

研究対象者個人が識別されないように成果報告します。

【データおよび試料提供による利益・不利益】

本研究は既存情報を用いた観察研究であり、研究対象者に直接の利益、不利益は生じません。

利 益：通常診療の情報を用いており、患者個人には特に利益になるようなことはありません。しかし、本研究への参加を通じて、医学の発展や社会全体の医療

水準の向上に貢献することになります。

不利益：カルテからのデータのみ利用するため不利益はありません。

【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

採取した試料・データ等は少なくとも本研究の終了報告から5年間、医局の施設可能な場所で適切に保管します。対応表を保管する場合も同様に保管します。対象者及びその家族等から参加拒否または同意撤回があった場合には、対象患者に関する試料・データはすみやかに廃棄いたします。

【研究成果の公表について】

研究データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。匿名化対応表は、該当する患者さんが診療を受けた病院の研究責任者や個人情報管理者などが保管・管理します。

【研究へのデータ使用の取りやめについて】

試料・情報の研究利用の拒否および同意の撤回はいつでも可能ですので、下記問い合わせ窓口にご連絡ください。しかし、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合は廃棄できない場合がございます。

尚、拒否および同意撤回による不利益は一切生じません。

【問い合わせ窓口】

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 呼吸器内科

主任科部長 西馬 照明

連絡先：079-451-5500